

淡路支部ニュース

2017. 1. 25
No. 331

兵庫県保険医協会淡路支部

〒656-1313 洲本市五色町

鮎原西9-2 たかたクリニック内

☎0799-3012272

新年のごあいさつ

社会保障の縮小を防ごう

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



2017年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、1月に皮膚疾患についての勉強会、3月に

診療報酬改定に伴う新点数研究会を実施し、患者負担増大の反対署名を得ることができました。6月の支部総会では「認知症とレビ－小体型認知症の基礎知識」と題してのミニ講演と映画「妻の病」の上映会を実施しました。12月の忘年会を兼ねての会員懇談会では「雇用管理の基本」について勉強しました。さらに恒例の接遇研修会、医療安全

管理研修会なども行いました。

今年は、県行革に伴う、老人医療費助成縮小が予定されており、受診抑制による疾病悪化が懸念されます。以前、協会活動がこども医療費無料化に貢献したという実績もふまえ、社会保障の縮小に断固反対していきたいと思います。

今年は支部活動活性化のために、幹事会を毎月第2火曜日に定例化し、医科、歯科の日常診療に役立つミニ勉強会を実施することにしました。幹事以外の先生方の参加を歓迎致します。

また今年5月27日の支部総会では国際医療福祉大学大学院准教授の杉本真樹先生をお招きして「ITで

医療が変わる！(仮)」というテーマで記念講演を予定しています。4月2日には姫路城の花見のバスツアーを計画し、会員の親睦を深めたいと思います。

今後も、様変わりするであろう急激な保険医療の環境変化に対応できるよう、会員の皆様方に最新の情報をお伝えし、医療再建をめざして様々な活動を展開していきたいと思ひます。

淡路支部は、様々な組織・個人と協力しあい、ともに地域医療・保健活動における信頼・絆の核となり、くらしと医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

支部研究会「医療機関で知っておきたい医療・福祉の役立つ制度」

制度を総合的に理解してもらえなく利用を



淡路支部は1月21日(土)、サンライズ淡路(南あわじ市)で研究会「医療機関で知っておきたい医療・福祉の役立つ制度」を開催、医師、医療機関事務、コメディカル、ケアマネージャーなど37人が参加した(写真)。神戸女子大学講師の阿江善春先生が講師を務めた。

現行の制度の中でも十分に活用しきれしていないものとして、退職時の社会保険の任意継続の選択や、特別障害者手当など具体的制度をいくつかあげて解説した。

また、適切なタイミンクで患者さんにアドバイスして利用してもらうためには、普段から患者さんの状況をうまくつかめるように、信頼関係づくりをしておくことも重要であるとし、臨床心理学の知見も紹介しながら、患者さんから「聴く」上での留意点を確認した。

阿江先生はまず、日本の社会保障体系について、大きくは社会保障・社会福祉・社会保険の3つの分野に分けられるが、後者になるほど公的責任が後退し、日本の制度の大半に社会保険方式が利用されていると解説した。その上で、保険方式